

[目次](#) [前回](#) [次回](#) [略解](#)

## 応用ベクトル解析

樋口さぶろお<sup>1</sup> 配布: 2005/07/23 Sat 更新: Time-stamp: "2005/07/24 Sun 17:52 hig"

### 12 略解 – ストークスの定理

1. 曲面  $S$  は, 平面  $x = 2$  に含まれる, 中心を  $(2, 0, 0)$  とする半径 3 の円板. このことから, 境界は, 平面  $x = 2$  に含まれる, 中心を  $(2, 0, 0)$  とする半径 3 の円周. よってパラメータ表示は,

$$\mathbf{r}(t) = (2, 3 \sin t, 3 \cos t) \quad (0 \leq t < 2\pi) \quad (1)$$

これは  $\mathbf{V}(s, t)$  で  $t = 3$  としたものに一致.  $\mathbf{n} = (1, 0, 0)$  より境界の向きが定まり, 始点は  $t = 2\pi$ , 終点は  $t = 0$ .

*Comment* 境界の個数は場合によって異なります. この場合は 1 個です. 球面に穴を  $n$  個開けたような曲面なら  $n$  個です.

*Comment*  $\mathbf{r}(s, t)$  の  $t$  と  $\mathbf{r}(t)$  の  $t$  は関係ありません. 別の変数  $u$  を使って,  $\mathbf{r}(u) = \mathbf{r}(u, 3)$  など書いたほうがわかりよかったです?

2. ストークスの定理より,

$$\begin{aligned} I &= \int_{\partial S} \mathbf{V} \cdot d\mathbf{r} = \int_{2\pi}^0 \mathbf{V}(\mathbf{r}(t)) \cdot \frac{d\mathbf{r}}{dt}(t) dt \\ &= \int_{2\pi}^0 \mathbf{V}(2, 3 \cos t, -3 \sin t) \cdot (0, 3 \cos t - 3 \sin t) dt = \cdots = -18\pi. \end{aligned} \quad (2)$$

3.  $\nabla \times \mathbf{V} = (2, 0, 0)$ . 単位法線ベクトルは  $\mathbf{n} = (1, 0, 0)$ . ヤコビアンは  $J = \frac{\partial(x, y)}{\partial(s, t)} = t$ . よって,

$$I = \int_S (\nabla \times \mathbf{V}) \cdot \mathbf{n} dS = \int_0^{2\pi} ds \int_0^3 dt (-2, 0, 0) \cdot (1, 0, 0) |t| = \cdots = -18\pi. \quad (3)$$

<sup>1</sup>Copyright ©2005 Saburo HIGUCHI. All rights reserved.

## 演習問題

飯田先生の過去の期末試験問題を利用させていただきます。この問題の解答は配布しません。

### 1(2000年度)

スカラー場

$$f(\mathbf{r}) = e^{-(x^2+y^2+z^2)} \quad (4)$$

とベクトル場

$$\mathbf{V}(\mathbf{r}) = (y \sin(xy), z \sin(yz), x \sin(zx)) \quad (5)$$

に対して次の量を計算しよう。

1.  $\nabla f$
2.  $\nabla \cdot \mathbf{V}$
3.  $\nabla \times \mathbf{V}$

### 2(2002年度)

曲面  $S$  のパラメータ表示を  $\mathbf{r}(s, t) = (2 \sin s \cos t, 2 \sin s \sin t, \sqrt{2} \cos s)$  ( $0 \leq s < \pi, 0 \leq t < 2\pi$ ) とする。  $\mathbf{r}_0 = \mathbf{r}(\frac{1}{4}\pi, \frac{1}{4}\pi) = (1, 1, 1)$  における接平面の方程式、またはパラメータ表示を求めよう。

### 3(2002年度)

曲線  $C$  のパラメータ表示を  $\mathbf{r}(t) = (3 \cos t, 3 \sin t, 0)$ , ( $0 \leq t \leq \frac{1}{4}\pi$ )、ただし始点  $(3, 0, 0)$ 、終点  $(3/\sqrt{2}, 3/\sqrt{2}, 0)$  とする。またベクトル場  $\mathbf{V}(\mathbf{r}) = (-y, z - x, y)$  とする。線積分

$$\int_C \mathbf{V} \cdot d\mathbf{r} \quad (6)$$

を求めよう。

### 4(2002年度)

曲面  $S$  のパラメータ表示を  $\mathbf{r}(s, t) = (s, t, 2 - s^2)$  ( $-1 \leq s \leq +1, 0 \leq t \leq 1$ ) とする。ベクトル場  $\mathbf{V}(\mathbf{r}) = (-y, z - x, y)$  に対して、面積分

$$\int_S \mathbf{V} \cdot \mathbf{n} \, dS \quad (7)$$

を求めよう。ただし、 $S$  の単位法線ベクトル  $\mathbf{n}$  の向きは、 $\mathbf{n}$  の  $z$  成分が正の値を取るよう選ぶ。

### 5(新作)

方程式

$$\left(\frac{x}{2}\right)^2 + \left(\frac{y}{2}\right)^2 + \left(\frac{z}{\sqrt{2}}\right)^2 = 1, \quad z \geq \frac{\sqrt{6}}{2} \quad (8)$$

で与えられる曲面  $S$  のひとつのパラメータ表示は  $\mathbf{r}(s, t) = (2 \sin s \cos t, 2 \sin s \sin t, \sqrt{2} \cos s)$  ( $0 \leq s \leq \frac{1}{6}\pi, 0 \leq t < 2\pi$ ) である。面積分

$$\int_C (\nabla \times \mathbf{V}) \cdot \mathbf{n} \, dS \quad (9)$$

を、ストークスの定理を用いて線積分に書きかえよう。その線積分を計算して答を求めよう。ただし、 $\mathbf{V}(\mathbf{r}) = (y, -x, z)$ 。また、 $S$  の単位法線ベクトル  $\mathbf{n}$  の向きは、 $\mathbf{n}$  の  $z$  成分が負の値を取るよう選ぶ。

## お知らせ

実習室や自宅で、Web 上で講義の録画を見られます。自宅での再生には Password が必要です。

UserID:

Password:



<http://hig3.net>

科目のページ + リクエスト / 質問 / 苦情用掲示板